

目標達成計画

作成日: 2021年 1月 18日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けに取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成 に要する 期間
1	35	夜間想定での消防訓練が行えていない。また、非常災害時における地域との連携も不十分である。	最低でも年に2～3回は夜間想定での消防訓練を実施する。 地域との連携に関しては、自治会等、地域への働きかけを行い、現状を知ってもらえるようになる。	事業所単体での訓練時、年2回実施。施設合同訓練時に年1回開催する。 地域との連携に関しては、訓練時の写真や実情等をお便り等に載せ、現状を回覧板で地域住民に知っていただけるようにする。	12ヶ月
2	36	入居者様の人格を尊重した声掛けができていない場合がある。また前年度同様、オムツ類が目に見える状態で保管されている箇所がある。	適切な言葉遣いで声掛けが行えるようになる。またオムツ類の保管方法を見直し、羞恥心に配慮した環境整備を行う。	接遇に関する勉強会を開催する。また毎月行うユニット会議でも注意喚起を行う。 オムツ類の保管は、保管場所の見直しを行うとともに、収納ケース等の準備を合わせて行う。	12ヶ月
3	6	身体拘束廃止の取り組みは行えているが、文書で残せていないことがある。	身体拘束に関連する内容は、確実に議事録等の文書で残す。	毎月のユニット会議で出た内容を、運営推進会議の議題にも反映させ、確実に議事録に残していく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月